

来週の「売り物」記事はこれ



2012年6月15日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

話題騒然！ 超大型読み物「S（ストーリー）」

日はまた昇る！

タイ洪水とサムライ企業 朝刊 6月17日（日）



昨秋、記録的な大洪水に襲われたタイ——。運河水路に囲まれているため、市街地の多くが水没しました。近年、各国からの企業進出が急増している工業団地も壊滅的な打撃を受けました。日本の自動車メーカーのほとんどが操業停止に追い込まれました。なかでもホンダ＝写真＝はただ一社、生産ラインそのものが水没し、工場の再開は厳しいと見られていました。それだけに、およそ半年を経ての操業開始に、タイの人たちから「どんな魔法を使ったのか」と称賛の声が上がります。絶望のなかから、ホンダマンたちはどこに「希望」を見だし、困難を克服したか——。「日はまた昇る」を信じて立ち上がった日本人、タイの人たちの人間ドラマを描きます。



日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

「リアル30's」第2部 くらしナビA面 18日（月）～

生きづらい時代を生きる30代を迫る連載「リアル30's」。1月の掲載に続き、第2部がスタートします。既存の枠組みにとらわれず、新たな道を切り拓く人たちを取り上げます。フリーランスの立場でネットワークを広げたり、オフィスを共有し人脈を築いたり……。模索する姿を通して、閉塞した現代社会の「希望」を描きます。



男のにおい対策 くらしナビB面 21日（木）



蒸し暑い日が続く、「体臭」が気になる季節。生活習慣を見直して、不快なおおいを抑えましょう。肉類に偏った食事やストレスは、においを強めてしまいます。汗を拭く際は、ハンカチよりも濡れタオルが効果的。靴は3足を交替で履くと、雑菌の繁殖を抑えて足のムレを防ぐことができますよ。

月刊だまされない～ネット通販

くらしナビA面 22日（金）

ネットショップで購入した商品が気に入らなくても、返品できるとは限りません。通信販売には、訪問販売のようなクーリングオフが義務づけられていないためです。返品に応じる制度の有無は、表示が義務づけられているので、購入時によく確かめてください。弁護士の村千鶴子さんが解説します。



シリーズインタビュー「時代を駆ける」

「有機農業の草分け」 星寛治さん

19日（火）より



全国に先駆けて70年代から地域ぐるみの有機農業に取り組んできた山形県高島町の星寛治さん(76)＝写真＝を取り上げます。星さんは東日本大震災と福島第一原発事故禍に揺れる日本の再生は「人と自然の共生」という有機の理念によるしかないと訴えています。これまでの有機農業への取り組みとともに、地域での活動、教育への関わりなども語ってもらいます。

名ゴルファーの「思い入れ」とは ―― 青木功の「体技心」第7部

19日から

この8月に古希(70歳)の節目を迎える名ゴルファー、青木功さん＝写真＝のゴルフ人生を紹介する運動面の長期連載「体技心」の第7部を19日から5回の予定で掲載します。今回は、ゴルフへの思い入れの深さを物語るエピソードを紹介します。チャリティー活動に熱心なのも、その一つ。海外で活躍した青木さんは「社会貢献の大切さを米国で知った。ゴルフしかできないんだからゴルフを通じて社会貢献していく」と語ります。また、「実戦の中で身につけた理論」を元に作り上げた独特のフォームの話なども取り上げます。



防災第一人者、河田恵昭・関西大学教授が疑義

首都圏直下地震で津波による死者はゼロ？

夕刊特集ワイド面 6月18日（月）



東京都は今春、首都圏直下地震の被害想定を見直し、「死者は9640人、津波による死者はゼロ」と発表した。これに対し、河田教授＝写真＝は「想定は誤っている」と語る。世界的に見ると、震度6以上の都市震災では被災地の人口の0.1%が死んでおり、これを首都直下地震にあてはめると死者は2万2000人になるという。大都市は、過密がゆえに被害が拡大するからだ。津波について河田教授は「大都市については津波の高さより、市街地が何日間浸水するかという視点で被害想定すべき」と警告する。

この「来週売り物記事」はメールでお送りできます。お気軽にお申し付けください。

販促宣伝部（電話 03-3212-1241） E-mail: urimono@mainichi.co.jp